

流域治水の取り組み 流域治水オフィシャルサポーター（その14）

1. 「あまみず交流会 三十六雨」の紹介

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会では、定期的に「あまみず交流会」を開催し、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展などの情報・意見交換の場として活用されている。

本レポートでは、当社技術者が参加した「あまみず交流会 三十六雨 雨水貯留浸透FAQ ～最近の問合せ事例と解説～」の内容を紹介する。

同交流会は今後も継続的に開催され、現在は対面・Zoom 併用で行われている（参加無料）。また、話題提供希望者も募集している。

「あまみず交流会」開催のお知らせ

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会
ARSIT Association for Rainwater Storage and Infiltration Technology

拝啓 日頃は、当協会の活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年も引き続き、宜しくお願致します。
毎月恒例となりました、気兼ねな情報・意見交換（サロン）の場「あまみず交流会」開催のお知らせです。
今回は、「雨水貯留浸透FAQ ～最近の問合せと解説～」と題し話題提供いたします。
皆さんのご参加を心よりお待ちしております。
併せて、「あまみず交流会」で、自社の製品・技術をPRしたい！共同研究の相手を探したい！
こんなことで困っている、これについて意見を聞きたいなど、話題提供者としてお話し頂ける方も
随時募集しております、奮ってご応募ください。

器具

記

「あまみず交流会」 “三十六雨”

開催日： 2026年 2月 18日（水） 17：00～18：30 ※通常より1時間早くスタートです。
会 場： 雨水協会 会議室 【オンライン（Zoom）での参加も可】
※ ぜひ協会にお越し頂き、ワイワイやりましょう！

話題提供：「雨水貯留浸透FAQ ～最近の問合せと解説～」

雨水貯留浸透技術協会

参加費： 無料
参加申込： 以下、URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/PEp2gNRBiumPCXR0W4>

次回以降話題提供をご希望の方は、以下へご連絡ください。
雨水協会 大西： k-onishi@arsit.or.jp

図1 「あまみず交流会 三十六雨」の開催案内

2. 雨水貯留浸透FAQ ～最近の問合せ事例と解説～

「あまみず交流会 三十六雨」では、雨水貯留浸透に関する最近の問合せを事例として、雨水貯留浸透に関する様々な情報提供や情報交換等が行われ、雨水貯留浸透に関する理解を、より一層深める良い機会となった。

□最近の問合せ事例

- ・円筒ます、正方形ますにおける比浸透量の算定
- ・「浸透施設」の対象範囲
- ・透水ますの開孔面積や形状と比浸透量の関係
- ・敷地が狭い施設における浸透施設設置の留意点
- ・浸透池の比浸透量算定式の適用範囲の考え方
- ・矩形ますにおける底面浸透の算定式
- ・貯留浸透施設や現地浸透試験の「歩掛」
- ・雨水貯留浸透と「グリーンインフラ」の方向性

あまみず交流会 三十六雨

雨水貯留浸透FAQ
～最近の問合せ事例と解説～

2026年2月18日

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会
Association for Rainwater Storage and Infiltration Technology

問い合わせ事例【4】

A: 雨水浸透施設技術指針(案)では、建物からの離隔について規定はしていませんが、多くの自治体で、建物との離隔を0.3m～1.0mと指導しているようです。建物近傍での設置可能幅に対する浸透施設の設置幅については、図1を参照。また、浸透施設相互の間隔ですが、浸透流の相互干渉により浸透量が低下することを防ぐために、1.5m以上距離をおいて設置することが望ましいとしています。

図1 建物近傍における浸透施設の設置幅

図2 建物からの離隔・浸透施設相互の間隔

問い合わせ事例【9】

A: 確かに浸透施設に用いる「透水ます」等、「コンクリート製」のものも使用しますが、使っている部材が「コンクリート製」であっても、自然環境が持つ機能である「土壌の浸透力」を利用し、雨水の流出抑制、地下水のかん養等を行う浸透施設は全て、「グリーンインフラ」であると、当協会は考えています。

雨水協会「グリーンインフラを考えた数値」の定義

雨水貯留浸透技術におけるグリーンインフラの定義(雨水C定義)
防災・減災、環境保全、地域振興等の様々な地域課題に対して、自然環境が有する多様な機能を活かし、持続可能な「水循環系の健全化」を推進するための雨水貯留浸透技術を『雨水グリーンインフラ(雨水C)』と位置付ける

図2 「あまみず交流会 三十六雨」の資料（抜粋）

3. 「あまみず交流会」の案内

「あまみず交流会」は、雨水貯留浸透施設に興味がある方は誰でも自由に意見交換・交流できる場として定期的に開催されています。開催案内等については、雨水貯留浸透協会 HP (<https://arsit.or.jp>) をご覧ください。

4.弊社からの情報提供

弊社では流域治水に関連する各種業務の実施や MCC 研究所で様々な技術研究を行っており、今後も業務・研究等を通じた流域治水に資する取り組みを継続・強化していきます。技術的な相談がございましたら、下記 URL よりお問い合わせください。

<https://www.mccnet.co.jp/>